

21世紀に
伝えたい
ちばの魅力 No.26

無病息災を願う

山倉大神の鮭祭り



山倉大神の境内を進む鮭祭りの行列。中ほどで鮭を捧げ持っているのが猿田彦(役名)です

どうして鮭を供えるの？

香取郡山田町の西部にある山倉大神では毎年12月、栗山川に回帰してきた鮭を供える県内では珍しい祭礼が行われています。この初卯祭はもともと霜月の初めの卯の日に行われていましたが、旧暦廃止以後は12月7日と定められ、通称「山倉の鮭祭り」と呼ばれています。今年は祭礼日が変わり12月1日に行われます。

鮭祭りは山倉大神の氏子11組のうちの2組が交代で当番を務めます。総行司や猿田彦、魚類勝手といったさまざまな役で100人近くが参加します。祭りの前日(宵祭)は魚類勝手の5人が鮭の護符を作ります。護符は塩漬けにした鮭の切り身と、黒焼きにした鮭を粉末にしたものです。特に風邪に効果があるとされ、祭りの当日は護符を求める参詣客で境内にはぎわいます。



祭りの前日に準備されるサケの護符。病や災いをサケる避けるといわれます

祭り当日はまず烏帽子姿の献幣使や鮭をささげ持つ猿田彦、唐櫃を担いだ行列が組まれ、額殿や拝殿で神事を行います。終了すると昼頃からは直会(宴)が始まり、民謡や踊りといった出し物もあります。午後には神輿の巡行です。白の狩衣を着た白丁たちが「キッタサーキッタサ」のかけ声と

もに、露店が立ち並び神社前の坂道を観福寺の前まで下り、向かいの吉野屋旅館を御旅所として祭事を行います。現在は車道となっているこの道も、昔は山倉大神への細い参道にすぎず、その脇を流れていた栗山川の支流まで鮭が登ってきていたといわれています。

鮭祭りの由来となる話が山倉に伝わっています。弘仁2年(811)頃、この地に疫病がはやり弘法大師が祈祷をしました。その間断食を続けていた大師を心配した村人が近くの川で取れた鮭を大師に届けました。大師がその鮭に祈祷をあげて村人に分け与えたところ、病が癒えたということです。また、ある夜に大師のもとに竜神が現われ、燈明を献じ鮭を供えたとの伝説もあります。その後人々は鮭を奉納するようになりました。秋に川を上ってくる鮭は古代から貴重な食糧でした。鮭の到来は神秘性を帯



白丁たちに担がれた神輿が威勢よく練り歩きます

びて、鮭の大魚が毎年決まった日に川を上るといふ昔話は東北地方に広く伝わっています。

鮭祭りとともに町の文化財に指定されて

杉の大木に囲まれ厳かな雰囲気の本殿



いる山倉大神本殿は、安永7年(1778)の建立で間口、奥行ともに4.5mの木造銅板葺一間流れ造です。境内にはほかに神楽殿、御輿殿などがあります。戦前の初卯祭は関東一円に組織された「山倉講」の参詣で隆盛をきわめました。神社に残る奉納額や絵馬などは東京や横浜の団体からのものが数多く見られ、その名残りをとどめています。



境内にある鮭の浮き彫りの奉納碑



交通 ■JR佐原駅からバス約40分、山倉大六天下車

★山田町地域振興課 ☎0478-78-1050

★山田町役場H・P

<http://www.town.yamada.chiba.jp/>

どうやってサケは帰ってくるの？

栗山川河口では10月になると産卵のため川を上るサケが見られるようになります。「山田町史」によれば昭和32年を最後に山倉地区では全く獲れなくなったようです。昭和51年から県は稚魚の放流を開始。現在は横芝町と光町が中心となり放流を続けています。川に戻ってきたサケを捕獲し、人工受精で卵をふ化させ、稚魚を育てて翌年の春に川に放します。平成13年度は339匹を捕獲、14万8千匹を放流しています。サケは普通約4年後に回帰するので平成9年に放流した稚魚58万9千匹に対して、1737匹に1匹の割合です。回帰率は太平洋を南下する寒流の親潮(千島海流)の影響を受けます。昨年は珍しく船橋沖でサケが水揚げされ話題になりました。

サケは北太平洋を数千キロも回遊し、非常に高い確率でふ化したときの川に戻ることが証明されています。この不思議



栗山川漁協によるサケの採捕作業。繁殖期のサケの体には赤黄色の斑紋が現れます



な能力については、太陽の位置を基準にしている、地球の磁気を感じている、海水の温度差や塩分濃度を感じとることができるなど、いろいろな説がありますが、確かなことはまだわかっていません。ただ、日本沿岸まで戻ってきたサケは自分の川にのあの記憶をたどって、進んで行くことが研究により明らかになっています。

十二座神楽って知ってる？

毎年4月の第1日曜日に山倉大神白川流十二座神楽(町指定無形文化財)が山倉芸能保存会によって奉納されます。旭市鎌数の



山倉大神白川流十二座神楽

伊勢大神宮から伝わったといわれています。町内にはほかに八重垣神社や愛宕神社に神楽が伝わっています。神楽は五穀豊穰や天下泰平などを願って奉納される舞いのことで、県内に伝わる神楽は江戸神楽の影響を受けた里神楽系統のもので、神話に題材をとった内容を仮面をつけて舞われています。

知ってる？ 千葉県四季のさかな

春…マダイ、カツオ、アサリ
夏…スズキ、マイワシ、アワビ
秋…サンマ、サバ、イセエビ
冬…キンメダイ、ヒラメ、ブリ、シジミ

鮭祭りがもう一つあるって本当？

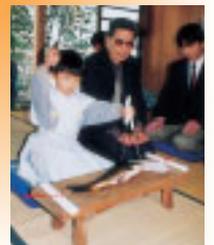
毎年12月7日の未明、観福寺でも初卯祭が行われています。この祭礼は住職1人がとり行うものです。当日は参詣者に鮭の切り身が配られ、秘仏である本尊の代わりに掛軸が御開帳されます。明治元年の神仏分離令までは山倉大神と観福寺は一体でした。分離後は山倉大神に祭られていた本尊の大六天が観福寺に移され、山倉大神では現在とにかみあすびのおあひなみ高皇産霊大神、たけはやすさきのあのみこと建速須佐男尊、あおくしぬしのみこと大国主尊を祭っています。



大六天を祭る観福寺

こちらは「鯉」が主役

成田市の神畑、新妻地区などに伝わる「鯉切りビシャ」の祭事は、県内に広く見られるオビシャの祭事の中でも供物に鯉を使う点が特徴的です。新妻地区では毎年1月20日頃諏訪神社で行われます。儀式では当番になった組(地区の中の小単位)の中から男の子が選ばれ、袴姿で鯉を切るまねをします。当日の酒宴では鯉こくを中心とした鯉料理がふるまわれます。鯉は近くの根木名川や近隣の川で獲れたものが使われます。



平成12年度に13種類の魚介類が選定されました

●●●●おいしいお魚イベント●●●●

- ★勝浦港カツオまつり(勝浦市/5月)
- ★きんめだい祭り(銚子市/7月)
- ★さんま大会(安房郡千倉町/10月)

サケが上る川・栗山川周辺ホットスポット



栗山川は佐原市から九十九里浜に流れる延長38.8kmの二級河川で、流域面積284.5km²。農業用水や都市用水の役割を担っています。今夏オープン道の駅や、心も身体もポカポカの天然温泉など、ホットな話題をお届けします。

① ぶれあい坂田池公園／横芝町

市街地近くのレクリエーションスポット。冬にはカモやオシドリなどが観察される坂田池周辺に野球場やテニスコート、陸上競技場などの施設が充実し、遊歩道や子ども広場などもあります。近くに1500本の梅林で知られる坂田城跡があります。JR横芝駅から徒歩約20分
公園管理センター ☎ 0479-82-7256
横芝町役場H・P <http://www.town.yokoshiba.chiba.jp/>



② 栗山川中流部湿原／多古町・光町

町境にある水田に囲まれた湿原で、広さは約25haと県内最大。ハンノキの林やヨシ・スゲ群落が目立ちます。栗山川では、昨年県内で初め

て希少植物のツツイトモ(ヒルムシロ科。沈水性の多年草)が発見されるなど豊かな

自然環境が残る川として注目されています。



JR・京成成田空港駅からバス約25分、多古新町下車徒歩約20分

多古町役場産業経済課 ☎ 0479-76-2611

③ あじさい遊歩道／多古町

町のほぼ中心を流れる栗山川沿いの約1kmの遊歩道は、初夏になると約1万株ものあじさいで彩られます。毎年6月下旬のあじさい祭りは多古米献上行列が見もの。あじさい公園では郷土芸能の発表や子ども向けのイベントなども開催されます。JR東関東自動車道成田ICから車で約15分
多古町役場産業経済課 ☎ 0479-76-2611
同役場H・P <http://www.town.tako.chiba.jp/>



あじさい祭りで栗山川を行く多古米献上行列

④ 道の駅くりもと／栗源町

今年8月、県道成田小見川鹿島港線の沢バイパス沿いにオープン。農産物直売所や軽食コーナーなど。味覚行りが気軽に楽しめる体験農園と地元農家の指導が受けられる貸農園が隣接しています。JR東関東自動車道成田ICから車で約15分 ☎ 0478-70-5151
栗源町役場H・P <http://www.town.kurimoto.chiba.jp/>



⑤ 栗源温泉 紅小町の湯／栗源町

泉質はナトリウム・塩化物強塩温泉で、大浴場と露天風呂があり、個室宴会場ではカラオケも楽しめます。料金は大人600円、子ども300円。10:00～22:00。年中無休。JR東関東自動車道大栄ICから



車で約20分 ☎ 0478-75-1005
H・P http://www.ryokuei-group.co.jp/spa_kurimoto.htm

★読者サービス受付で「ちばの魅力」を見たとお申し出の方、大人500円、子ども200円でご利用できます。

